

令和3年度第4回ヨコハマeアンケート 「特別自治市」に関するアンケート

実施期間 令和3年6月18日（金）から7月2日（金）

事業所管課 政策局 制度企画課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	60 (1.7%)	194 (5.5%)	422 (12.0%)	434 (12.3%)	427 (12.1%)	255 (7.2%)	1 (0.0%)	1,806 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	102 (2.9%)	482 (13.7%)	546 (15.5%)	384 (10.9%)	132 (3.7%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,696 (48.1%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	165 (4.7%)	679 (19.3%)	974 (27.6%)	822 (23.3%)	563 (16.0%)	297 (8.4%)	1 (0.0%)	3,524 (100.0%)

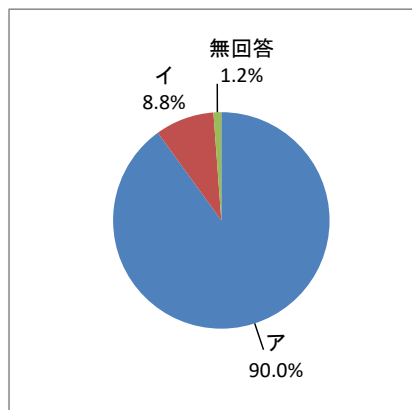
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	2 (15.4%)	15 (25.0%)	75 (38.7%)	223 (52.8%)	242 (55.8%)	278 (65.1%)	151 (59.2%)	1 (100.0%)	987 (54.7%)
女性	1 (11.1%)	20 (19.6%)	146 (30.3%)	208 (38.1%)	169 (44.0%)	69 (52.3%)	20 (48.8%)	0 (0.0%)	633 (37.3%)
不明	0 (0.0%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	3 (50.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	13 (59.1%)
計	3 (13.0%)	37 (22.4%)	223 (32.8%)	434 (44.6%)	413 (50.2%)	350 (62.2%)	172 (57.9%)	1 (100.0%)	1,633 (46.3%)

Q1 あなたは、横浜市が「指定都市」であることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,633

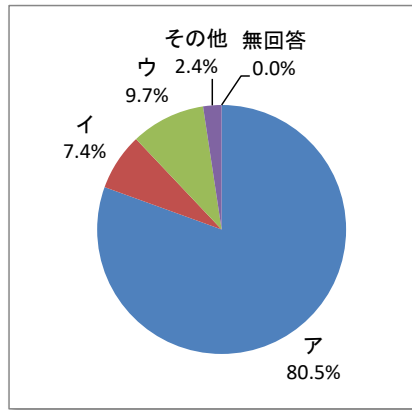
ア	知っている又は聞いたことがある	90.0%	1,470
イ	知らない又は聞いたことがない	8.8%	144
	無回答	1.2%	19
		100.0%	1,633



Q2 市民の方々の暮らしに関わる様々な分野で、指定都市と県がそれぞれ同種の事務を処理しています。このことについて、あなたは、どう思いますか？
(単一選択)

n = 1,633

ア	指定都市と県で重複している事務は整理される方がよい	80.5%	1,315
イ	今のままでよい	7.4%	121
ウ	わからない	9.7%	158
その他		2.4%	39
無回答		0.0%	0
		100.0%	1,633



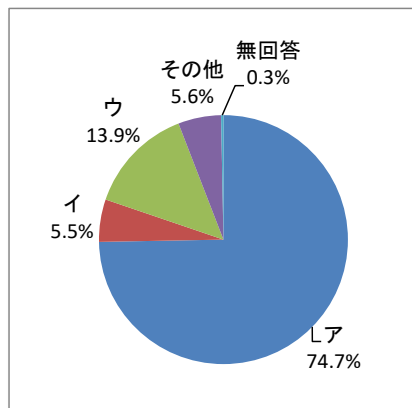
その他(抜粋)

個別に判断すべき
県にとって推進すべきこと、市にとって推進すべきことは、立場が異なれば、意見も異なると思う。
明治以降、都道府県及び市町村という形で地方自治が行われてきているが、地方からの大都市への人の移動が進み、交通・通信事情の進歩、労働や家族の在り方も変化してきており、新しい時代に向けて行政の在り方を再検討する段階にきていると思う。ちょっとした手直しではすぐにはほころびが出てくると思う。
市と県で重複している業務は整理したほうがいいのかもかもしれませんが、それら業務の全てを市の方に集約するのは必ずしもメリットばかりではないのではと最近考えるようになりました。

Q3 「指定都市」は、法律に基づき、道府県に代わり多くの事務を担っていますが、その仕事を行うために必要な税財源は十分ではありません。あなたは、このような「指定都市」制度における税財源の仕組みについて、どう思いますか。
(単一選択)

n = 1,633

ア	「指定都市」の事務負担に見合った税財源が配分されるように制度を見直すべき	74.7%	1,220
イ	「指定都市」のような大都市は現行の制度のまま多くの事務を担うべき	5.5%	90
ウ	わからない	13.9%	227
その他		5.6%	91
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,633



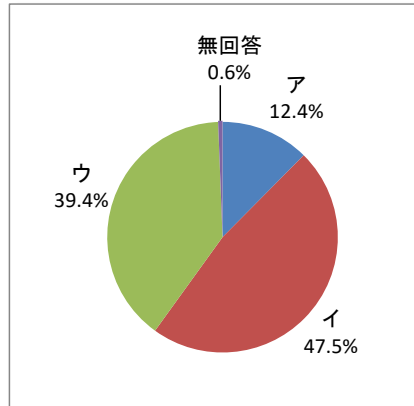
その他(抜粋)

事務の無駄を省くようにしたらよい。
業務分担を一体で見直すべき。
現行の指定都市制度自体を見直すべき。
県から事務をほぼ丸投げされているのであれば、税財源は、その事務負担に見合った配分がなされるべきだが、県も事務を相応に負担しているのであれば、その限りでは無いと考える。

**Q4 あなたは、「特別自治市」を知っていますか。
(単一選択)**

n = 1,633

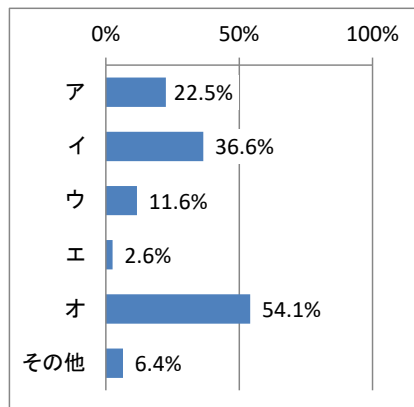
ア	制度の概要まで知っている (⇒Q5)	12.4%	203
イ	名前だけは聞いたことがある (⇒Q5)	47.5%	776
ウ	全く知らない (⇒Q6)	39.4%	644
無回答		0.6%	10
		100.0%	1,633



**Q5 Q4で「ア 制度の概要まで知っている」、「イ 名前だけは聞いたことがある」と回答された方にお聞きします。
「特別自治市」をどこで知りましたか。
(複数選択可)**

n = 979

ア	横浜市ホームページ	22.5%	220
イ	広報よこはま	36.6%	358
ウ	横浜市発行のパンフレット等	11.6%	114
エ	横浜市主催のフォーラム・シンポジウム等のイベント	2.6%	25
オ	テレビ・新聞などのマスメディア	54.1%	530
その他		6.4%	63



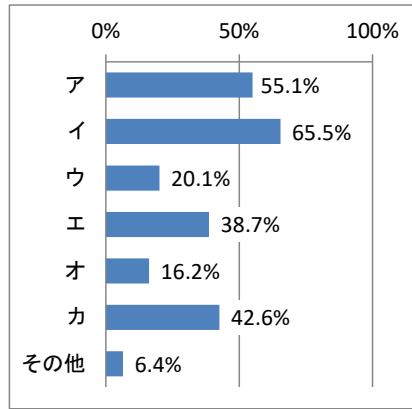
その他(抜粋)

大学の講義
SNS
知人との会話
大阪市の住民投票に関連して

Q6 「特別自治市」を市民の方々に知っていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(複数選択可)

n = 1,633

ア	横浜市ホームページの掲載内容の拡充	55.1%	899
イ	広報物の発行	65.5%	1,069
ウ	フォーラム・シンポジウム等によるイベントの開催	20.1%	328
エ	SNSの活用	38.7%	632
オ	動画の配信	16.2%	265
カ	広報テレビ・ラジオ番組の活用	42.6%	695
その他		6.4%	105



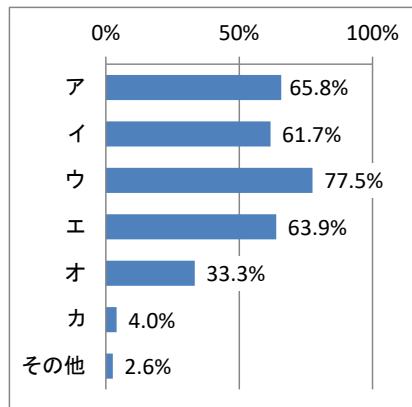
その他(抜粋)

様々なメディア、公共施設での情報提供。
学校での教育
特別な取組みは不要だと思う。

Q7 「特別自治市」について、詳しく知りたいことについて教えてください。
※「カ 特になし」を選択した方は、他の回答を選ばないでください。
(複数選択可)

n = 1,633

ア	制度の内容	65.8%	1,074
イ	特別自治市の必要性	61.7%	1,008
ウ	実現により期待されるメリット	77.5%	1,266
エ	実現により懸念される事項	63.9%	1,043
オ	実現に向けたプロセス・進捗状況	33.3%	544
カ	特になし	4.0%	66
その他		2.6%	43



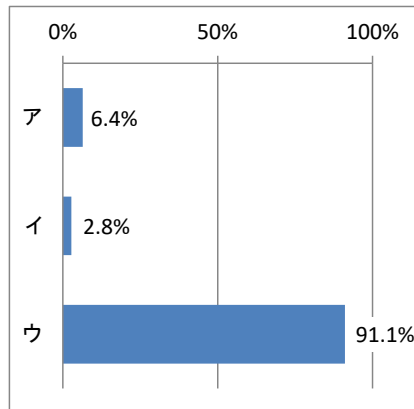
その他(抜粋)

まず一言で何なのか知りたい
各区のあり方
市民税、県民税の扱い
実現により生じるデメリット

Q8 あなたは、大都市制度に関するイベント(フォーラム・シンポジウム等)に参加したことはありますか。
 ※「ウ 参加したことはない」を選択した方は、他の回答を選ばないでください。
 (複数選択可)

n = 1,633

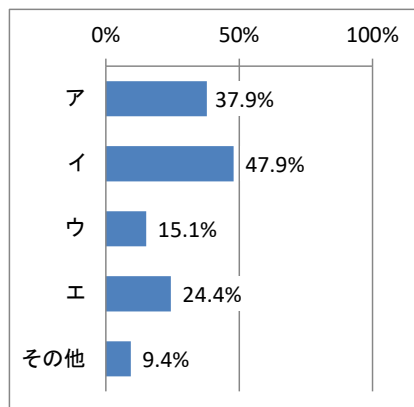
ア	横浜市主催のイベントに参加	6.4%	105
イ	主催が横浜市以外のイベントに参加	2.8%	45
ウ	参加したことはない	91.1%	1,487



Q9 大都市制度に関するイベントがどのような内容であれば参加してみたいと思いますか。
 (複数選択可)

n = 1,633

ア	市長や著名人による講演会・シンポジウム等	37.9%	619
イ	オンラインで参加できるイベント	47.9%	783
ウ	参加者同士で意見交換ができるイベント	15.1%	247
エ	家族で参加できるイベント	24.4%	398
その他		9.4%	153



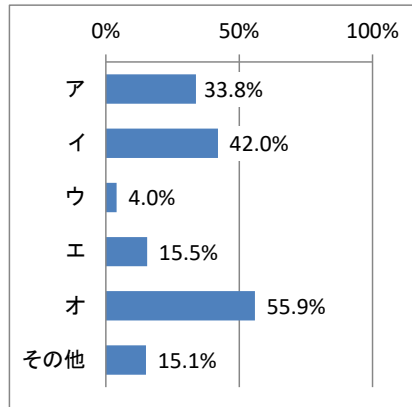
その他(抜粋)

イベントは経費も手間も掛かるので、不要。他の広報による周知で十分。
メリット・デメリット、両方の話が聞けるイベントなら聞いてみたいです。
難しくなく気楽な内容
賛成派と反対派がきちんと議論する会。(罵り合いではなく)

Q10 大都市制度に関するイベントに著名人が出演する場合、どのような著名人が参加するイベントに参加したいですか。
(複数選択可)

n = 1,633

ア	タレント(俳優・アナウンサー等)	33.8%	552
イ	文化人(ミュージシャン・作家等)	42.0%	686
ウ	YouTuber	4.0%	66
エ	スポーツ選手	15.5%	253
オ	経済界関係者・有識者	55.9%	913
その他		15.1%	246



その他(抜粋)

著名人は必要ない。

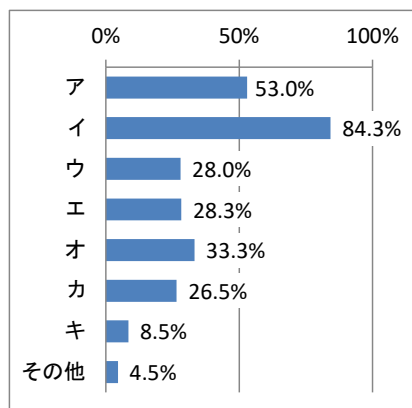
制度を理解し、課題等をわかりやすく説明できる人。

横浜市在住または所縁があり、横浜市をもっと良くしたいという思いを持っている人。

Q11 あなたは、普段、横浜市に関する情報をどのように得ていますか。
(複数選択可)

n = 1,633

ア	横浜市ホームページ	53.0%	865
イ	広報よこはま	84.3%	1,376
ウ	横浜市公式SNS(LINE・Twitter・YouTube等)	28.0%	457
エ	横浜市発行のパンフレット等	28.3%	462
オ	新聞	33.3%	543
カ	テレビ	26.5%	433
キ	ラジオ	8.5%	138
その他		4.5%	74



その他(抜粋)

インターネットのニュース記事

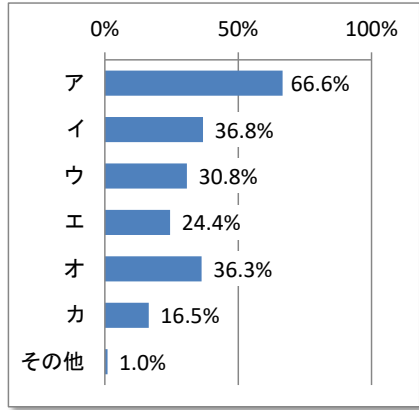
地域のタウン紙

自治会町内会からの回覧板

Q12 あなたが普段よく活用するSNSは何ですか。
 ※「カ SNSを利用していない」を選択した方は、他の回答を選ばないでください。
 (複数選択可)

n = 1,633

ア	LINE	66.6%	1,088
イ	Twitter	36.8%	601
ウ	Facebook	30.8%	503
エ	Instagram	24.4%	399
オ	YouTube	36.3%	593
カ	SNSを利用していない	16.5%	269
その他		1.0%	16



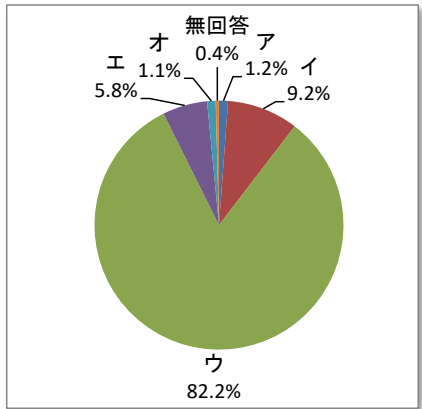
その他(抜粋)

mixi
地域の広場アプリ「ピアッツァ」

Q13 あなたは、自身の居住地を県外の方に聞かれた際、どう回答しますか(どの回答が最も自然に感じますか)。
 (単一選択)

n = 1,633

ア	私は「横浜市〇〇区〇〇町住民(在住町会)」です	1.2%	19
イ	私は「横浜市〇〇区民(在住区)」です	9.2%	151
ウ	私は「横浜市民」です	82.2%	1,343
エ	私は「神奈川県民」です	5.8%	95
オ	いずれにも該当しない	1.1%	18
無回答		0.4%	7
		100.0%	1,633



**Q14 「特別自治市」に対するイメージや「特別自治市」の実現に向けた取組の推進について、ご意見があればご記載ください。
(自由意見)**

(抜粋)

<p>特別自治市については、県並みの機能を持てるようになるという認識です。ぜひ、横浜市には特別自治市への移行を推進して、これを実現してほしいと思っています。</p>
<p>神奈川県からサービスの提供を受けている感覚はあまりない。普段の各種行政サービスは、横浜市からのものと感じている。それだけ、神奈川県と横浜市との間に二重行政が存在していることだと思う。県に代わって負担している経費についても無駄を省いてほしい。推進を期待します。</p>
<p>まずは、特別自治市という実現できるか分からない枠組みに固執するのではなく、現在の大都市制度の枠組みの中で県から権限移譲や財源移転を進めるべきである。</p>
<p>具体的に自分の生活にどう関係するのかイメージが湧かないというのが特別自治市に対する感想です。つまり言葉だけで中身がないというイメージです。</p>
<p>単純な事務処理であれば、市への移管については大きな問題は生じないと思うが、何らかの判断が必要となり他の市への影響が大きい事項に関しては、移管しない方がうまくいくのではないかと考える。 どのような事柄を移管するのかクリアでないで、具体的な意見が出せないが、横浜市が関係する全ての事項を県から移管させることは、横浜市民の利益にはならないのではないかと考える。横浜市の利益だけを考えるのではなく、県民全体の利益をしっかりと考えることが、横浜市民の利益にも繋がると考える。</p>
<p>市民に対するメリット・デメリットを具体的に広く説明する必要がある。現状は全くの説明不足であると言わざるを得ない。市民生活に直結することなのでここは徹底していただきたい。</p>
<p>特別自治市を目指している主旨については共感できるので、実現の必要があると思う。しかし、特別自治市以外の県民にとってはメリットがないだけでなく、デメリットにも感じてしまうため、他県民への丁寧な説明や他県民にとってもメリットがある制度だということを周知し納得してもらう必要があると思う。</p>
<p>全くわからないのでまずは特別自治市について知りたい。</p>
<p>情報が全く発信されていない。もっと積極的に情報発信するべきである。</p>
<p>何をやるにしても税金の無駄遣いはしないほしい。</p>
<p>焦らずに、課題に丁寧に向き合いながら進めてゆく行くことが望ましいと思います。</p>
<p>「特別」というネーミングでない方が良いように感じます。</p>